

災害時におけるマツダスタジアム周辺の避難計画

建築屋たち

1. 企画概要

昨年まで、建築屋たちでは、広島工業大学とその周辺の防災、避難計画について考えてきた。一昨年は広島工業大学周辺の防災模型の製作、昨年は災害時における鶴記念体育館の活用方法を考え、提案した。

そして今回は、広島工業大学周辺ではなく、昨年及び今年の広島東洋カープのセ・リーグ優勝に伴い、より多くの人が集まるマツダスタジアム周辺の大規模災害を想定し、その時に観客が、マツダスタジアムでの緊急退避を終えた後の安全な場所への避難誘導をより迅速にできるようにしたいと考え、各避難所の位置と避難ルートを作成を行い、マツダスタジアム周辺の敷地模型を製作し、わかりやすく表示しようと考えている。



図1 マツダスタジアム周辺の写真

2. 活動内容

このプロジェクトは4月から始動しており、防災模型の意義や、模型に何を明記するかを思案した。7月に入るとグループを模型班と調査班に分けて活動を始めた。模型班は、模型を展示する際の土台や敷地内の地盤など製作した。調査班は、夏季休業中に二回の現地調査を行い、周辺地区の小中学校までの避難経路を想定し、実際に試した。また後期日程が始まると、広島市役所危機管理室災害予防課の方と連絡を取り、私たちの活動について説明をした上で、避難計画を検討する際のポイントを確認した。夏季休業中から始まった模型製作は、12月中旬に8割方を完成した。また、模型設置場所として目標としていたマツダスタジアムでは、指定管理事務室に文書を送ったところ、設置を検討していただいたが難しい結果となり、今後は新しい設置場所を考える予定である。



図2 周辺地区での現地調査の様子

3. 今後の活動予定

今後は、新しい模型設置場所を検討するために広島市役所危機管理室災害予防課の方に完成した模型を見て頂き、設置場所の決定を行う。また、模型細部までの製作を引き続き行い、年内には完成をさせる。現在検討している避難計画をより深く調査するために、様々な災害を想定した避難経路や、市役所の方から頂いた改善点を含めて、避難計画を考えていく予定である。そして、模型の設置場所が決定すれば、設置場所に伴う周辺地区の方へのアンケートなども予定している。



図3 模型製作中の様子

4. まとめ・反省等

広島市役所の方との打ち合わせでは、避難計画における様々な改善点を抑えることができ、私たちの防災知識の向上に繋がった。模型製作では予定としていた12月中旬に8割方を完成し、計画に沿った活動ができた。

反省点としては、メンバーそれぞれの意識の違いにより作業量の差が生じ、各納期の遅れが出たことがあげられる。予算変更も多いことから、予算計画において少し甘かったように思う。また、責任感の違いによる協調性の欠如が多くみられた。

しかし、活動を通して社会人の方と関わる経験や、チームとして活動する難しさを感じることによって得られる経験ができているため、非常にいい活動となっている。これらのことを今後の学生生活でも生かしていきたいと思う。